

第191回研究科委員会・第294回教員会議 議事要録

日時：令和元年11月13日(水)13:30～16:50

場所：後援募金記念棟 会議室1-2

議題

研究科委員会

[審議事項]

1. 教務委員会

(1) 博士前期課程授業科目の新設及び授業科目名称変更について

資料1に基づき、新設授業科目と、1件の科目名称変更が提案され、了承された。

共生システム理工学専攻会議

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 特別聴講学生(交換留学生)の後期履修科目について

資料2に基づき、交換留学生の履修科目が報告された。

教員会議

[審議事項]

1. 基盤教育委員会

(1) 今後の基盤教育科目の開講計画の決定方法について

(2) 今後の基盤教育科目の担当体制について

資料3に基づき、基盤教育科目の開講計画決定方法および担当体制が説明された。

令和2年度については開講する科目が既に決定しており、3年度以降は前年度の秋ごろに決定される。今後、意見をまとめて、次年度以降に反映させていくとの説明があった。

現代教養コース運営委員より、本学類が担当する現代教養コース(夜間主)の科目は縮小していく方向だが、旧カリ生が在学している期間はある程度の分担が必要である旨の情報提供があった。

2. 教務委員会

(1) 2019年度非常勤講師計画について

資料4に基づき説明され、了承された。

(2) 新カリキュラムの研究室配属方法について

資料5に基づき、既に決定している研究室配属方法が再度説明され、研究室配属に関する資料を作成し配布することが決定した。誤記等で修正する必要がある場合は、教務課共生システム理工学類係に連絡するように要請があった。研究室の最大定員を5名とするか6名とするか、これをいつまでに決定すべきか、様々な意見が出された。

(3) 令和2年度学修案内について

令和2年度は冊子版とWeb版が共存し、3年度以降はWeb版のみとする方針であることが報告され、意見が求められた。印刷しやすい工夫が必要であるなど、具体的な発言があり、意見提案は教務委員会で集約することとした。

(4) その他

過年度生のコース配属の際に用いる総GPについて、GPが多い2つのセメスターの合計を用いること(旧カリの専攻配属と同じルール)が学修案内に掲載されていることが説明された。在籍した期間の総GPにすべき、履修年次が1年である科目の

GPにすべき、などの意見が出され、現在の記述を変更しないことも含め検討することとした。

[報告事項]

1. 学類長

- (1) 令和元年12月期勤勉手当に係る「勤務成績が特に優秀な職員」及び「勤務成績が優秀な職員」(教育職員)の推薦について
特に優秀な職員2名と優秀な職員12名の氏名が投影された。
- (2) 令和元年12月期における期末手当及び勤勉手当の加算該当者の推薦について
5級6名と4級3名の加算該当者の氏名が投影された。

2. 入学試験委員会

- (1) 令和2年度大学入試センター試験監督者説明会等について
本学類の多数の教員が監督者を委嘱されることが予告され、12月18日(予備日:12月24日)に説明会が開催されることが報告された。
- (2) 推薦入試および大学院入試(2次募集)について
11月23日に入試を実施することがリマインドされ、志願状況が報告された。

3. 教務委員会

- (1) 学生の休学について
資料が投影され、休学者1名が報告された。
- (2) 令和2年度開講計画について
令和2年度の開講計画の確認を、分野長経由で依頼することが報告された。
- (3) 測量士補資格取得のために必要な科目の履修について(依頼)
資料6に基づき報告された。
- (4) 第14回全学教務協議会について
(審議事項)
 - ・台風19号の被災学生に係る授業欠席に関する取扱い及びボランティア活動に伴う授業欠席に関する取扱いについて
資料7に基づき報告された。
 - ・令和元年度後期授業日程について
資料8に基づき、台風による休講に対応するための補講期間を追加した授業日程が報告された。
 - ・令和2年度授業日程(案)について
資料9に基づき、3つの授業日程案が報告された。第3案が有力であるとの補足があった。入試広報委員より、令和2年度のオープンキャンパスは7月11日(土)を予定しているため、土曜日の授業との調整が必要である旨の発言があった。
 - ・新教育制度「初年次レポート」の取扱いについて
資料10に基づき、報告された。すでに2セメスターも進行しているため、今年度の実施には無理があるとの発言があった。問題探求演習で訪問する学生に対し、公開を前提としないに対応しているとの発言もあった。「初年次レポート」に求められる内容について具体的に確認し、グループアドバイザー等に周知することとした。

(報告事項)

- ・令和元年度前期成績分布の公開について
資料11に基づき報告された。
- ・学校教育法施行規則、大学院設置基準の一部改正に伴う大学院3ポリシー、学位論文審査基準の点検について
資料12に基づき報告された。点検スケジュール等は指示を求めたいとの発言

があった。

- ・教員の保有する個人情報の取扱いに関するガイドラインの改正について
資料13に基づき報告された。
- ・全学FD研究会について
資料14に基づき報告された。
- ・シラバス点検(第2弾)について
資料15に基づき報告され、協力が求められた。

4. 奨学寄附金等の受入れについて 今回は報告すべきものが無かった。

教育研究評議会

第325回(10月29日開催)報告

[審議事項]

(1)平成30年度活動実績に関する自己点検・評価のエビデンスの確認について
認証評価基準のうち教育研究評議会開催実績や運営組織図を確認した。

(2)特定年俸制の仕組みについて(案)

特定年俸制の案が説明され、意見が求められた。

号給改定表で、4級以下のS・SSが5%に対し、5級のS・SSは10%といった差は、不平等に感じられ、准教授の年俸制への移行を妨げる。外部研究資金加算の設立により、現在の間接経費相当額の再分配の額が減ることのないように願いたい。外部研究資金加算は、月給制の教員にも導入すべきである。手当については給与制度によらず同一ルールにしておくことが簡素で、手続きも容易ではないかといった意見が出された。出された意見は教育研究評議会で報告する。

(3)2021(令和3)年度入試改革の残された課題について

資料に基づき、入試改革の残された課題について報告され、意見が求められた。国語の記述式は得点で表記し、英語は比率で表記するのは判りにくい。更に国語全体の配点が不明なので、50点満点が適切かコメントできない。自己申告書と調査書による主体性評価で、両者の間の公平性は担保できるのかといった意見が出された。出された意見は教育研究評議会で報告する。

[報告事項]

(1)平成30年度教員評価実施結果報告について

語学を担当している言語系の教員の評価法に課題があるとの報告があった。評価書の未提出は全学で1名のみであった。

(2)就業規則の一部改正について

年俸制給与規程の一部改正が報告された。

(3)その他

令和元年度台風19号関連災害義援金募集について

義援金の募集が行われている。会議中に名簿を回覧し、協力が要請された。

進路状況報告について

進路が内定した学生に対してシステムに登録するよう呼びかけることが要請された。

令和元年度研究・地域連携成果報告会について

報告会の開催がアナウンスされた。

運営会議

第130回（11月5日開催）報告

（1）副学長候補者等の選考スケジュールについて

学類からの推薦締切日が示された。これ以前に教員会議で選挙を行い、3名の推薦者を決定する。

（2）働き方改革への対応について

勤務時間申告書の提出状況や代休取得状況が報告された。年休取得の義務化に対する考え方が説明された。

（3）大学院研究科3ポリシー、学位論文審査基準等の点検について

法改正および文科省からの通知によりポリシーの公表が義務化される。

（4）福島大学2021年度入試改革に向けた高校教員説明会について

12月11日に郡山東高校にて説明会を開催する。

（5）その他

令和元年9月の電気・ガス・水道の使用量等について

使用量が報告され、節電・省エネが呼びかけられた。

「研究力の分析に資するデータ標準化の推進に関するガイドライン」に係るデータ提供依頼について

内閣府からの依頼に係る課が協力している。